

令和９年度地震調査研究関係予算概算要求（関係機関別）

（単位：百万円）

担当機関		令和８年度 予算額	令和９年度 概算要求額	要 旨
総務省	国立研究開発法人 情報通信研究機構	運営費交付金 の内数	運営費交付金 の内数	○ 高分解能航空機搭載合成開口レーダーを用いた災害の把握技術の研究
	消防庁消防大学校	23	32	○ 石油タンク等危険物施設の地震時安全性向上に関する研究（注３）
	消防研究センター			（うち、デジタル庁一括計上）
	計（注３）	23	32	対前年度比 142 %
文部科学省	研究開発局	2,691	5,682	○ 海底地震・津波観測網の運用等
				○ 地震調査研究推進本部関連事業
				（地震本部の円滑な運営）（注３）
				（うち、デジタル庁一括計上）
				（活断層調査）
				○ 地震防災研究戦略プロジェクト
				（南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト（NanTR））
				（情報科学を活用した地震活動・地震動評価技術の高度化（STAR-E NEXT））
				（防災研究推進事務費）
文部科学省	国立大学法人	運営費交付金 の内数	運営費交付金 の内数	○ 災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第３次）
	国立研究開発法人	運営費交付金 の内数	運営費交付金 の内数	○ 地震災害及び津波災害に係る予測力向上に関する研究開発
	防災科学技術研究所			○ 実大三次元震動破壊実験施設等研究基盤を活用した都市のレジリエンス高度化研究開発
				○ 知の統合を目指すデジタル技術を活用した防災・減災に関する総合的な研究開発
		－	5,463	○ 施設整備費補助金
				（地震・火山観測網の更新）
				（Ｅーディフェンスの老朽化対策）
	国立研究開発法人	運営費交付金 の内数	運営費交付金 の内数	○ 地球変動帯で発生する地震及び火山活動の諸現象に関する研究開発
	海洋研究開発機構			
経済産業省	計（注３）	2,691	11,145	対前年度比 414 %
	国立研究開発法人	運営費交付金 の内数	運営費交付金 の内数	○ 活断層評価の研究
	産業技術総合研究所			○ 海溝型地震評価の研究
				○ 地震災害予測の研究
経済産業省	計	－	－	対前年度比 － %

国土交通省	国土地理院	1,067	3,616	○ 基本測地基準点測量経費（注3） （うち、デジタル庁一括計上）	3,254 377	(811) (110)
	気象庁	1,561	4,928	○ 地殻変動等調査経費 ○ 防災地理調査経費（全国活断層帯情報整備） ○ 地震観測網、地震津波監視システム等（注3） （うち、デジタル庁一括計上）	331 31 3,640 1,143	(225) (31) (1,103) (133)
	海上保安庁	120	112	○ 南海トラフ沿いの地震活動・地殻変動の常時監視及び地震発生可能性の評価 ○ 関係機関データの収集（一元化） ○ 地殻活動・地震動・津波の監視・予測に関する研究（気象研究所）	978 275 35	(108) (275) (76)
				○ 海底地殻変動観測等の推進 ○ 海域地殻変動監視観測等の推進 ○ 海洋測地の推進	102 11 —	(87) (28) (5)
	計（注3）	2,748	8,656	対前年度比 315 %		
	合 計（注3）	5,462	19,834	対前年度比 363 %		

また、上記のほか、研究の成果が地震調査研究の推進に関連する施策として以下のものがある。

担当機関		令和8年度 予算額	令和9年度 概算要求額	要 旨
経済産業省	国立研究開発法人 産業技術総合 研究所	運営費交付金 の内数	運営費交付金 の内数	○ 地質情報の整備
国土交通省	国土地理院	82	85	○ 地理地殻活動の研究（うち地震調査研究の推進に関連するもの） 85 (82)

注1）四捨五入のため、各内数の合計は必ずしも一致しない。

注2）内数表記の事項については、合計には加えていない。

注3）政府情報システムに係る経費としてデジタル庁予算に一括計上した金額を含む。

注4）この他、事項要求あり。

要旨右の（ ）は令和8年度予算額

地震調査研究推進本部調べ